

# 父島と母島の自然遺産マップ



# わたしたちにもできる小笠原の自然を守るための約束



新たな外来種を侵入させない

日本の本土などの小笠原以外の地域から、小笠原に広がるおそれのある、植物や動物、土・土の付いた苗などを持ち込まないようにしよう。



外来種を広げない

山の中や他の島に行くときは、靴底や服、荷物に、種や小さな生きものがくっついたり、まぎれ込んだりしていないかチェックしよう。



## 在来の生きものたちの すみかをそっとしておく

山の中に行くときには、歩道や決められたルートの利用のルールを守り、ルートから踏み出さないようにしよう。



生きもの人も幸せに暮らす

飼っているネコは登録をし、不妊去勢手術やマイクロチップを入れる、屋内で飼うなど、人もネコも野生の生きものも穏やかに暮らせるようにしよう。



# 小笠原への 行き方

小笠原諸島は、  
東京から約1,000km南  
にある30余りの島々の総称です。  
これらの島のうち、  
一般の人が住んでいるのは  
父島と母島のみです。

平成30年6月

制作・発行 小笠原村環境課 <http://www.vill.ogasawara.tokyo.jp/>  
〒100-2101 東京都小笠原村父島字西町 ☎ 04998-2-3111  
協力 環境省、林野庁、東京都  
イラスト/デザイン 羽黒有紗

# ***World Natural Heritage Ogasawara Islands***



# 進化と変化を続ける島々の 変わらないモノと変わったコト



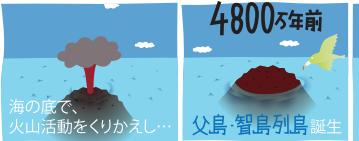
平成23年6月、小笠原が世界自然遺産に登録

小笠原では、生きものたちが独自の進化をとげた結果、ここにしかいない固有種が数種生息する。その中でも、世界で最も珍しい種といわれる「アカハラヤシ」がある。

小笠原のこのような生態系が、小さな海洋島における生物の進化を示す典型的な見本として世界的な価値を持つことが認められ、世界自然遺産に登録されました。

# 小笠原の成り立ち

地球史の見本が現在も進行中



小笠原諸島は海洋プレートの沈み込みから始まる地質的な成長を、珍しい岩石や地形を通して見ることができます。



## 生きものたちの起源と進化

小笠原は今まで一度も大陸と陸続きになったことがない  
海洋島のため、生きものたちは空を飛んできたり、波や風、鳥に運ばれたりして島にたどり着きました。

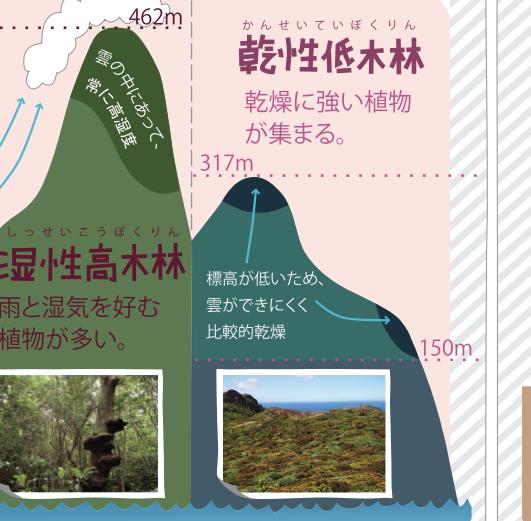


# 世界自然遺産としての価値

## 植物編

### もともとの植生の姿へ

変わらないモノ



### 変わったコト

- ④ 外来種の影響により本来の植生が変化
- ④ 外来種対策 , 植栽により在来植生が回復中
- ④ 希少な固有植物の保全(柵で囲って保護、栽培して増殖)

## 鳥類・哺乳類編 空飛ぶ生きものたちのこと

### 変わらないモノ



### 変わったコト

- ④ 外来種の影響による生息数の減少
- ④ 外来種対策 によりハトやコウモリを目撲する機会が増加
- ④ ハトの建物のガラスへの衝突やコウモリによる農業被害などの人の暮らしとの間でトラブル発生
- ④ 賢島や母島などで海鳥の繁殖地が回復
- ④ アホウドリが賢島・媒島・嫁島で繁殖

## 独自に進化した生きものの 変わらないモノと変わったコト

### 陸産貝類編

### マイマイのイマとこれから

変わらないモノ



### 変わったコト

- ④ 外来種の影響による生息の危機
- ④ 外来種対策 により陸産貝類への影響をなるべく低減
- ④ 固有の陸産貝類の保全(飼育して繁殖)

### 昆虫編

### 虫たちをムシしない

変わらないモノ



### 変わったコト

- ④ 外来種の影響による生息の危機
- ④ 兄島へのアノールの侵入確認(平成25年)
- ④ 外来種対策 により昆虫類への影響をなるべく低減
- ④ 希少な固有の昆虫類の保全(トンボ類の繁殖を手助けするためのトンボ池の設置、オガサワラシジミ・オガサワラハンミョウの保護・増殖)

## 小笠原本來の生態系を とりもどすためのとりくみ

### 外来種対策

外来種・在来種どちらの命も大切です。それでも、この対策は、小笠原でしか生きていけない生きものを守るために、生態系全体のバランスに注意しながら進められています。

